



第37号  
平成27年9月15日

# むらかみ

市議会だより



## 市民の宝 輝く瞳

鍛冶町お囃子

(村上地区 鍛冶町)

【特集】市民と議会の懇談会	2～3ページ
一般質問	4～12ページ
委員会審査報告	13～14ページ
第2回定例会議決結果	15～17ページ
政務活動費の交付実績	18ページ
常任委員会の閉会中事務調査	19ページ
インタビュー	20ページ

村上大祭で演奏される市無形民俗文化財第1号「鍛冶町お囃子」。7月16日に開催された「全国森林環境税創設促進議員連盟第22回定期総会」の交流レセプションでは、全国の市町村議会約200人の参加者の前で素晴らしい演奏を披露していただきました。

# このままでいいのか! 「市民と議会の懇談会」

5月17日(日)に開催され、今回で3回目となった「市民と議会の懇談会」。

3月定例会での新年度事業や当初予算の審議内容などについて報告した後、特に今回は「人口減少対策・子育て支援」をテーマに絞って意見交換をさせていただきましたが、残念ながら各会場とも参加者が非常に少なかった懇談会となりました。

開かれた議会をさらに進めるため、次回の懇談会にはぜひとも多くの市民の皆さんに参加していただけるよう、参加者の方々からコメントをいただきました。

## 参加者5人から貴重な提言

### 小島 満さん (山口)



荒川地区以外の議員も出席して行われましたが、肝心の市民の参加が少なく、いかに市議会に無関心であるかが分かります。しかし時代は刻々と移り、少子高齢化は避けられない問題であり、他力本願では改善できません。市民一人一人が知恵を絞り合い、市民と議員が気軽に語り合い、議員は市民から聞く耳を持っていただければと感じます。また市職員の皆さんも率先して市民の声を聞き、官民一体で市議会を盛り上げ、日ごろご尽力いただいている区長の皆さんへの一層の力添えを願うところです。

### 山田 雅子さん (飯野二丁目)



村上に来て12年が過ぎました。村上市も課題が多く、議員の考えを聞きたくて参加しました。人口減少と子育て支援がテーマでしたが、子育て中の母親からの質問に議員からの回答が明確でなく、議員の皆さんがどのように準備して出席されたのか残念でした。「市民との懇談会」が、何のために行われているのかと考えさせられました。素晴らしい村上を若者に、子どもに孫にどうバトンタッチしていくのか。市政に関心を持ち、選んだ議員を励まし、育てるのも私たち市民の責任なのではと思っています。

## 高橋 博愛さん (猿沢)



「市民と議会の懇談会」に初めて参加しました。駐車場の満車に驚き、入場して参加者2人に二度驚きました。車は隣の会場で開催のコンサート参加者のものでした。開催日がコンサートと重なったためかと昨年の参加人数を調べたら、朝日地区が4人、市全体でも36人でした。参加者が少ない理由を一言で言えば、議員を選んだ時の懸命に比し、関心が薄いのでしょうか。このような市民と議会の乖離を埋めるには、議会側には事業の総括を、私たち市民は議会にもっと関心を持つことが大切だと痛感しました。

## 加藤 英人さん (大毎)



議会中継を、ホームページで見ていることがあります。質問の内容の半分以上が、担当課に確認すれば済む内容ではないかということです。事前に確認することにより、もっと市政の方向性に踏み込んだ内容にしてください。

懇談会・議会本会議を、土曜、夜間に行っていたきたい。議会が市民へ開かれた姿勢を見せることが大切であり、形だけの物では市民の声は反映されないと思います。日曜本会議一般質問をぜひ行い、市民と協働の議会運営を目指していただきたい。

## 内山 雄平さん (桃川)



少子化で児童・生徒数が減少し、各地で学校の統廃合の問題が取りざたされていますが、統廃合後の変化について検証したという例をあまり耳にしません。そこで、統廃合が与える児童や保護者への影響についての検証と、地域に学校がなくなることの社会的な意味をどう捉えるかを尋ねました。いま学校は学習の場だけでなく、地域コミュニティの役割も求められています。

懇談会への参加数が大変少なく、折角の機会を逃していると感じました。開催時期など工夫を凝らしてもらいたいと思います。

## 各会場の参加者数

地区	平成27年度【5月17日(日)】		平成26年度【5月18日(日)】	
	会場	人数	会場	人数
村上	教育情報センター	9	クリエート村上	11
荒川	荒川地区公民館	7	荒川地区公民館	6
神林	神林農村環境改善センター	5	神林農村環境改善センター	4
朝日	朝日支所	2	朝日地区公民館	4
山北	さんぽく会館	8	さんぽく会館	11
合計		31		36

# 市政を問う!!

7月13日・21日・22日・23日の4日間の日程で行われた一般質問に15人の議員が登壇しました。

質問および答弁の要旨を掲載します。(質問順)

※全質問事項は以下のとおりです。なお、一般質問の原稿は、質問者が作成したものを掲載しています。

## 15人が 一般質問

一  
般  
質  
問  
(1)

### 1 片野鉄雄議員 5

1. 子育て支援策の充実について
2. 市町村合併について
3. 景気対策と経済活性化について
4. 村上市の情報発信について

### 6 尾形修平議員 7

1. ふるさと納税について
2. 本市における中小企業の振興策について

### 11 富樫宇栄一議員 10

1. 「地方版総合戦略」策定について
2. 子育て支援について
3. 小中学校のバス通学について
4. 選挙の投票所設置数等について

### 2 川崎健二議員 5

1. 戦争体験の語り部の発掘と育成について
2. 岩船町駅前の自転車置場の設置について

### 7 相馬エイ議員 8

1. 村上市社会福祉協議会の職員採用について
2. 岩船沖洋上風力発電について

### 12 長谷川 孝議員 10

1. 新市長のまちづくり戦略について
2. 本市の外国人観光客の呼び込み対策について

### 3 滝沢武司議員 6

1. 村上市立小・中学校望ましい教育環境整備検討委員会について
2. 村上市の教育課題の現状と今後について

### 8 小杉和也議員 8

1. 観光振興について
2. 人口減少問題について
3. 産業の活性化について

### 13 渡辺 昌議員 11

1. 農業の現状と展望について
2. 職員の人材育成について

### 4 竹内喜代嗣議員 6

1. 安保関連法案に対する見解について
2. 2018年度から財政運営の主体が都道府県となる国民健康保険について
3. ごみ処理場等の管理について
4. 石川の堤防の危険箇所改修について

### 9 鈴木いせ子議員 9

1. 村上総合病院の移転新築について
2. 村上市の農業施策について
3. 高速道路延伸に伴う「朝日みどりの里」の整備計画について

### 14 大滝久志議員 11

1. 1次産業の活性化策について
2. 教育委員会の運営体制について

### 5 川村敏晴議員 7

1. 全国森林環境税創設促進議員連盟の事務局は村上市議会にあるが、今後の村上市としての関わり方について
2. 大滝前市長のもと各地域にできた、まちづくり協議会の補助制度について
3. 選挙権が18歳以上になることに対する、学校教育での選挙制度の扱いについて

### 10 山田 勉議員 9

1. 地域経済の活性化と雇用対策について
2. 村上総合病院移転新築の進め方について
3. 洋上風力発電導入の進め方について
4. 人口減少問題対策について
5. TPPに対する考え方について

### 15 本間清人議員 12

1. 今後の市政運営について

## 一般質問とは？

一般質問は、議員が市長や教育長など市当局に対し、広く市政についての報告、説明を求めものです。

定例会ごとに行われ、質問順は抽選で決定しています。

# 子育て支援と景気対策



片野 鉄雄 議員

**問** 子育て支援にもっと力を入れるべきではないか。

**答** 村上市では27年度から5年計画で新たな取り組みを始めた。

**問** 子育て支援に取り組んでいる民間団体と連携してはどうか。

**答** 一部の団体とは連携し事業を進めている。今後各団体とも強化する。

**問** 保育料について、第二子から無料にすることはできないか。

**答** 今後、事業の優先度を勘案しながら検討をしていきたい。

**問** 人口減少対策として雇用対策は極めて重要と思う。住宅リフォーム補助事業を早期に導入しては。

**答** 本市の厳しい経済状況を打開するためにも住宅リ

フォーム補助事業を7月定例会の追加議案として提案させていただく。

**問** どのくらいの予算になるのか。

**答** 約3千万円程度である。

**問** 村上市の良い情報を広く発信していくことは、市民だけでなく地域経済活性化のため極めて重要である。村上市公式のフェイスブックを開設してはどうか。

**答** フェイスブックの開設に経費は掛からないが、リスクの問題はある。しかし、前向きに検討したい。

**問** 各支所は防災の拠点でもあり、住民のよりどころでもある。合併後の各支所のあり方をどう考えるか。

**答** 支所の緊急対応経費を増額し住民の意見にしっかり耳を傾けていく。



市内保育園の遊具

## 戦争体験の語り部育成を



岩船町駅前の自転車の状況

ついでにできないか。

**答** 現在、市内小中学校では授業で戦争体験者のお話をお聞きする等行っているが、今後機会をとりこんで語り部となつてくださる方々にご協力いただき、貴重な体験を語り伝えることができるよう検討したい。

**問** 岩船町駅前の自転車置き場について、高校生や一般乗客のほか、新潟リハビリテーション大学や新潟看護医療専門学校村上校の学生も利用することから、生徒・学生や家族が安心できるよう、JRとも相談して一日も早く設置していただけないか。

**答** 岩船町駅前には、高校生や大学生などが利用する自転車の駐輪台数が多くなっており、地域の皆さまからも自転車置き場設置の要望もあつることから、JRとも協議して、設置に向け検討したい。

**問** 戦争によって尊い人命を失い、貧困に耐えた戦争体験者は、筆舌に尽くしがたい体験をされており、その苦労は察するに余りある。今年が戦後70年の節目の年だが、恐ろしい戦争を知る人は年々減少している。今、私たちは平和に暮らしているが、平和の尊さを感じるとともに、今後とも戦争のない平和を希求しなければならぬ。そのため、戦争の恐ろしさや体験を語り継ぐことは大事なことであり、私たちに課せられた大きな使命であると考えます。教育委員会や戦没者遺族会等にお願として、戦争の語り部として活躍していただ



川崎 健二 議員

# 望ましい学校環境へ方策は

**問** 昨年4月に設置された「村上市立小中学校望ましい環境整備検討委員会」に諮問した内容を伺う。

**答** 望ましい教育環境に関する基本的な考え方や方針、その実現に向けた方策について諮問している。

**問** これまで議会でも何度も問題となってきた学校統廃合の件は、どのように検討がなされているか。

**答** 現在検討中の課題でもあるが、文部科学省でも適正な学校や学級の規模や編制について方向が出されており、それらも下敷きしながら村上市としての望ましいあり方について検討が進められている。



年々寂しくなる入学式（村上南小学校）



滝沢 武司 議員

**問** 市内小中学校の児童生徒数は5年前に比べると、小学生は3480人から2771人と約20%減少。特に1年生は533人から390人と約27%も減少している。このような急激な減少傾向を市教育委員会は、どのように捉えているか。

**答** 現在の状況については承知しており、その危機感から委員会を立ち上げ、検討を進めている。

**問** 今後も続くと予想される児童生徒数の減少に対し、市教育委員会はこの傾向を今後の子どもたちの学校生活を改善する具体策として、どのような手立てを考えているか。

**答** その件も含めて検討委員会での協議をお願いしているが、その実現には時間も必要であり、その間はこれまでどおり各校への支援や援助を続けていくことになっている。

# 戦争法案に反対を

**問** 終戦50周年の村山首相の談話は「歴史の事実を謙虚に受け止め、ここにあらためて痛切な反省の意を表し、心からのお詫びの気持ちを表明致します。」と語っているが、市長は、どのようにお考えか。

**答** 一自治体の長がお答えする内容ではないと考えている。

**問** ポツダム宣言は、「日本の戦争は侵略戦争だった」と確認しているがいかがお考えか。

**答** 政府見解でも議論があり、事実の検証ができないのでお答えできない。

**問** 安倍内閣の平和関連法案に反対表明する考えは、ないか。

**答** 今のところない。



竹内喜代嗣 議員



戦争法反対全国百万人総がかり行動（山北地区）

**問** 首相は、自衛隊が安全な地域で弾薬を運ぶ仕事をすると言っているが、戦争は、兵站（食料、弾薬、兵員輸送など）を止めたものが勝つ。兵站は、戦争そのものである。もう二度と戦争をしてはいけないという意見をどう考えているか。

**答** 非核平和都市宣言の「世界の恒久平和を望んでいく」、これを堅持していく。

**問** 約2億円の国民健康保険給付等基金の残高で国民健康保険税の引き下げをしてほしい。

**答** 制度の安定的運営と保険給付費等の増高時における国民健康保険税率の抑制のため、引き下げは考えていない。

# まち協補助金を堅持せよ

**問** まちづくり協議会への市税1%の交付金財源を継続的に確保することは無論だが、自立可能な協議会には、自立のためのさらなる支援が必要と考えるが、まちづくり協議会の自立を支援する考えはあるか。

**答** 全国森林環境税創設促進議員連盟に加盟する会員市町村議会と行動を共にし、さらに協力を進めたい。



川村 敏晴 議員

**問** 市長は議会事務局時代、全国森林環境税創設議員連盟の事務局長をされていたが、本税が山村地域に対する地域振興策として不可欠であること承知とは思いますが、村上市民ふれあいセンターで開催される定期総会を成功させ、長年の目的を達成させるための村上市長の心構えは。

一般質問(4)

**答** 「市民協働のまちづくり」の更なる推進のためにも、各まちづくり協議会発展への支援はやむを得ない。

**問** 来年の参議院選挙から、18歳から投票が可能となる予定だが、ある政治学者の説だと、初めての選挙で投票した人は、その後も投票し続ける傾向があるとのことだが、小中学校から選挙制度教育をしっかりと勉強させてはどうか。

**答** 選挙法改正に伴い、学校教育でも政治への関心を高める主権者教育の重要性が問われており、新潟県知事も県教委に要請しており、今後国や県の動きを注視していく。



全国森林環境税創設促進議員連盟 第22回定期総会での総務省都道府県税課長の講演

## ふるさと納税返礼品は



地域の特産で村上市をPR

**問** 現在行われている中小企業に対する振興対策に加え、さらなる支援が必要と考えるが。

**答** 本市では、「産業振興懇談会」を設置しさまざまな意見をいただきながら、(仮称)村上市中小企業振興基本条例を本年度中に制定する。

**問** 現在の支援策は、ハードルが高く使い勝手が悪いとの声が聞かれるが。

**答** 6月に市内の中小企業を対象にアンケート調査を実施し、その結果も反映した、より実効性のあるものを構築したい。

**問** 市内事業者に対して市有地等を貸し付けているが、支援の施策として料金の減免等は出来ないのか。

**答** 条例および要領に基づいて貸付料を決めているが、要望があった時点で対応したい。

**問** 本年9月1日よりふるさと納税をしていただいた方に地域の特産品を贈呈する事になったが、その内容および制度設計について伺う。

**答** 市外から1万円以上ご寄付いただいた方に金額に応じて品物を選べるスタイルとし、「越後村上物産会」を通じて全国配送を行うとともに、パンフレットを作成しマスコミ発表やホームページで情報発信を行う。

**問** 物産会員以外から特産品の申し込みがあれば、どのように扱つか。

**答** 本市としては初めての取り組みであり、今後返礼品の種類をはじめ、制度の改良で対応していく。



尾形 修平 議員

# 社協の採用試験は公正か

**問** 「社協むらかみ」の職員募集に受験資格が載っている。守られたのかと疑惑がもたれているが。

**答** 市に匿名の手紙が届き、市は調査をし、経過を報告させた。誤解を招くような採用の事実があった。公募の採用と臨時職員の任用を同時に行ってしまったこと。

**問** 臨時職員に任用の知らせはない。市民に不信、疑惑を与えたことは、社協の目的、役割からもおかしい。市は指導、監督を強化すべきでは。



【ウミウ】



【オオミズナギドリ】

粟島はウミウとオオミズナギドリの繁殖地



相馬 エイ 議員

いない。職員採用は透明性確保に万全を期すようにと文書を出した。

**問** 25年6月10日、安田教授が県庁を訪問し協力依頼、環境課に照会あり、6月28日漁業組合幹部と協議し洋上風力発電の可能性エリアの提示を依頼、7月10日エリア（素案）を提示。日本海の夕陽はすばらしいと手を合わせて拝む観光客がいるのに科学的なデータもなく三面川河口から荒川河口までと簡単に決められたのか。補償の話は。

**答** 補償という名でないが、何らかはあり得ると進んでいる。

**問** この地域は県立自然公園、鳥獣保護区、保安林に指定。粟島には国の天然記念物のオオミズナギドリとウミウの繁殖地がある。三面川と荒川は鮭の遡上する川と課題は大きい。市はどうクリアするのか。

**答** 市としては、科学的にきっちり根拠づけしながら進めたい。

# 紙おむつ支給年齢引上を



小杉 和也 議員

**問** 観光は関連産業の裾野が広く大きな経済効果が期待できるので、現在つながらのある市区町村、以前つながらがあった市区町村との間で観光交流都市として交流してはどうか。

**答** 民間ベースで交流がつかない。市としても検討したい。

**問** 市長がリーダーシップをとり、トップセールスでPRしなければ村上市の発展はなく、村上市の観光振興にはどうしても必要なことだ。また、現在ロコミで入り込み数が増加している地域もあるので、鶴岡市のように市のホームページでロコミ情報を発信できるようにしてはどうか。

**答** ソーシャルネットワークのロコミで観光客が増加



観光交流都市として交流すべき「川越市」

している地域があるので、村上市もしっかりと作りあげる方向で考えていきたい。

**問** 人口減少問題対策チャレンジランの乳児紙おむつ処理支援事業は1歳未満の乳児1人につき、ごみ袋を60枚支給する事業だが、市民と議会の懇談会の中で、1歳以上の子どもにも支給してほしいとの意見があった。おむつがはずれるのは2歳から3歳までが多いので、支給年齢を引き上げる考えはないか。

**答** 子育て支援策として喜んでもらえる事業なので直ちに検討したい。

**問** 地場産業を市でバックアップしたり、地方創生で支援を計画する市区町村があるがどう考えるか。

**答** 市の財産であり、後世につなげていくためにしっかりと支援していきたい。



# 病院の新築は進むのか

一般質問(6)



鈴木いせ子 議員

**問** 村上総合病院の移転新築候補地の決定には時間がかかったが、何が原因と考えるか。

**答** 候補地の土壌汚染や地質と思う。

**問** 駅西にした場合メリットとデメリットは。

**答** メリットは、速やかに事業が実施され開院される。デメリットは、民有地であり、近隣は住宅化も進んでいるので、地権者や近隣住民のご理解をいただかなければならない。

**問** 移転新築を進めるために、今一番大事なことは何か。

**答** 新病院整備基本構想を確定すること、事業スケジュールを作成することと考える。

**問** 厚生連で近年建てられ

た病院の場所と救急医療の実態を調べたか。

**答** 17年の長岡中央総合病院は長岡東ハイパス付近、18年の上越総合病院は上新ハイパス付近、23年の佐渡総合病院は中心部に建設している。

**問** 道の駅朝日の拡充構想の進捗は。

**答** 27年6月に朝日温海道路インターチェンジ周辺の土地利用基本構想策定事業をコンサルタント会社に委託した。施設の老朽化やバリアフリー化の問題もあるので関係団体との意見交換などを行い、道の駅としての機能と高速道路のサービスエリアの機能を考慮した拡充構想を今年度中に策定したいと考えている。

**問** 温泉施設・農産物直売所・シルクラワー工房の位置付けは。

**答** 拡充構想の中で検討する。



賑わう「朝日みどりの里」

# 人口減少問題対策は



元牧草地を農地として活用した  
穀造クラブの取り組み (貝附)

域活性化の起爆剤として期待されているが、事業推進の考え方は。

**答** 今年の10月以降には、現状についての説明と意見交換を行い地域の合意形成を更に進める。

**問** 人口減少問題対策について、村上市も合併した20年に比較すると6千人も減少している。市長の考えを伺いたい。

**答** 村上市総合戦略および第2次村上市総合計画の中で精力的に取り組んでいきたいと考えている。

**問** TPPに対する考え方について、市の基幹産業である農業にとっては大打撃であるが、市長はどのように考えているか。

**答** 国益に関わる重要なことであるので、今後の推移を見守っていきたいと考える。

**問** 村上総合病院移転新築工事はどのように進めていくか。

**答** 村上総合病院移転新築工事の事業年度は、29年から32年度と予定され、厚生連の計画により粛々と進められることから、本市としても最大限の支援と協力をしていく。

**問** 洋上風力発電導入の進め方について、再生可能エネルギーの推進のみならず、経済面や観光面からの地



山田 勉 議員

# 総合戦略の外部委託は



富樫宇栄一 議員

**問** 「地方版総合戦略」は部内策定が基本。外部委託の内容と今後の取り組みは。

**答** 委託内容は、人口動向の分析や将来展望、施策の達成度を図る評価指標の設定、統計および分析等である。策定作業は、庁内に「総合戦略推進本部会議」を設置し、人口減少対策のアイデアの募集を行った。また市民や企業・高校生・新成人のアンケートなど広く意見を聞き、今月設置した「村上市総合計画審議会」に行政案を提示し、年内策定を目指して取り組んでいる。

**問** 人口減少は避けられない。政策を絞り込み、必ずやり抜く決意を固めることが重要ではないか。

**答** 人口減少を前提にする



入所希望の多い保育園（あらかわ保育園）

のではなく、減少を食い止めるということをやりたい。

**問** 保育園の待機児童が出ていると聞か、現状をどう認識しているか。その対応は。

**答** 本年4月1日現在の待機児童は、制度上ゼロだが、地域によっては、保護者の希望する保育園で受入れできないケースは存在している。途中入園の希望は、特に入園困難となっている。

**問** 制度上ゼロと言っても希望する保育園に入れない児童は「隠れ待機児童」。この解消こそ「子育て支援」ではないか。

**答** そういったニーズがあることは承知している。どういつかうに対処できるか検討したい。

# 外国人観光客を呼び込め



長谷川 孝 議員

**問** 昨年の日本への外国人観光客は円安の追い風もあり、1341万人と過去最高を記録した。政府は成長戦略の要として、東京オリンピックが開催される32年までに2千万人を呼び込む目標を掲げている。

現在、新潟空港を利用する外国人観光客入国後の行動パターンの分析はできているのか。

**答** 入国管理局の統計によると、26年度に新潟空港から入国した外国人は2万6920人となっている。しかし、入国後の行動パターンに関しては、県に確認したが、把握していないとのことである。

**問** 多様化している外国人観光客の心をつかむには、

タイムリーな行動を知る必要がある。入国時にWi-Fi（ワイ・ファイ）の無料提供などで行動パターンを知り、観光戦略に役立てるよう県に要望して欲しい。SNS（ソーシャルネットワークキングサービス）などで外国人観光客の好みをつかみ、新たなサービスを展開する模索も各地で始まっている。本市の外国人観光客の呼び込みについて伺いたい。

**答** 初めは、ありのままの本市の魅力を知っていただきたい。そのため外国語版ホームページによる情報発信やWi-Fiの整備、外国語パンフレットの作成などを中心に取り組んでいきたい。



新潟空港から入国する外国人観光客

# 市独自の農業振興策を

**問** 農業は本市の基幹産業であるが、農業従事者の高齢化や後継者不足が大きな問題となっている。担い手や新規就農者の現状、今後の対策や取り組みは。

**答** 本市での担い手の経営面積は、個人経営が417人で2716ha、法人経営が41法人で1055ha、集落営農が13組織で237haであり、今後も担い手への農地集積を進めていく。新規就農者は24年度以降44人で、うち青年就農者が9人である。毎年確実に就農者があり、地域農業のリーダーとなってもらうため、関係機関で協力してバックアップを行っていききたい。

**問** 耕作放棄地対策で、他市では漢方に使用する薬草の栽培に力をいれている



渡辺 昌 議員



山あいの水田の様子（朝日地区）

**が、情報収集をすべきでは。**

**答** そのような取り組みも考えなければならぬが、まずは耕作放棄地となった原因を調べ、それぞれの地域に合った対策をとっていかねばならない。

**問** 市職員出身の新市長には、人材育成の取り組みに期待している。市長が求める職員像は。

**答** 本市の人材育成基本方針に示されている「地域の変化や市民の声を行政の意思決定過程に取り組み、政策形成することができる職員」、「自発的に問題意識を持って自己啓発に取り組み職員」、「高い専門知識と実務能力を持つとともに、相互支援ができる職員」の3点である。

## 一次産業の活性化策は



将来が期待される漁業

**問** 「農地中間管理機構」はうまく機能せず、米価は下落した。農家と農地をどのように守るのか。

**答** 農地の貸し手側で349人、121・7haの集積があった。条件不利地の農地が継続して耕作できるよう、国の制度や地域の受け入れ体制等を検討していく。

**問** 林業では、後継者不足と木材価格の低迷により山林は放置されてきた。林業の活性化の道は。

**答** 現在の山林荒廃は、材価の下落により造林、伐採、再造林の施業サイクルに対する経費負担を、山林所有者が維持できないことが大きな要

因と思われる。このため、間伐推進や森林作業道整備などの補助金交付を実施しており、主間伐の生産についても対策を検討していく。

**問** 漁業では、そこそこの後継者もあり将来にも希望が持てる産業と思うが、最近では魚価が安定せず苦労もあると聞く。貝類の採り過ぎによる水揚げ減少の対策を考えているか。

**答** 本市では、「村上地区地域水産業再生委員会」を立ち上げ、コスト削減や所得向上を目指す「浜の活力再生プラン」を策定した。

**問** 教育委員会制度改革により、市長が教育行政の大綱を定めることになった。市長が変わることによってぶれることはないか。

**答** 総合教育会議において市長と協議・調整を行い、政治的中立性を保ちながら執行していく。



大滝 久志 議員

# 今後の市政運営は

**問** 選挙を通じて、市民に訴えてきた選挙公約とその具体策は何か。

**答** 「つひつひの幸せのために」を実現するための施策を、ていねいに進める行政でありたいと訴えてきた。その大きな役割を担っていたら、その大きな役割を担っていたら、それが区長、総代の皆さまであるので、皆さまとの連携を通じて、市民一人一人からのニーズにお応えできるよう、地域固有の課題や市全体としての共通の課題に対するさまざまな意見に耳を傾け、ていねいな対応を心がけていく。



高橋新市長による初定例会



本間 清人 議員

**問** これからの村上市をどのようにしていくのか。

**答** 人口減少の進行は想像以上に早く、大きな課題であるので、昨年度から取り組んでいる「チャレンジプラン」に加え、地方版総合戦略の積み上げを喫緊の課題として取り組むとともに、活気みなぎる元気なまちを目指していく。

**問** 今回の市長選の市長の得票数は有権者の34%で、6割の方は市長を選んでいないが、これをどう思うか。

**答** 数字的にはそのように検証できるが、選挙戦を通じて私の肌と目で感じたのは、非常に大きなご支援をいただいているという思いがある。

**問** 行政マンの立場から、なぜ市長に出馬しようと思ったのか。

**答** 大滝前市長の病气退任を受けて、大滝市政を継続させていかなければならないので、このような選択をした。

## 今こそ森林の整備・保全のための新たな財源を ～全国森林環境税創設促進議員連盟第22回定期総会～

本市議会が事務局等を務める「全国森林環境税創設促進議員連盟」の第22回定期総会が、7月16日、村上市民ふれあいセンターで開催されました。

6年10月に結成された本連盟は、全国334市町村議会（27年9月1日現在）が加入し、森林の持つ公益的機能と役割を広く国民に訴えるとともに、森林・林業・林産業山村対策の抜本的な強化をはかるため、新たな税財源である「全国森林環境税」を創設し、二酸化炭素排出源を課税対象として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を担う市町村にその森林面積に応じて税を譲与する仕組みの構築実現のため、各種の活動を展開しています。

当日は、全国の会員市町村議会、来賓、地元の関係団体等、合わせて約300人に出席をいただき、26年度事業・収支予算報告、27年度事業計画・収支予算案が提案され、全ての議案が承認・可決されました。

議事後は、石破茂地方創生担当大臣からビデオメッセージにより「国土の7割を占める森林の活性化なくして地方創生はありえない」との激励をいただくとともに、総務省自治税務局都道府県課長から「地方の地球温暖化対策に関する財源確保について」の実務的な説明をいただき、全国森林環境税の創設について、会員だけでなく地元、当地域の関係者にも理解をさせていただき良い機会となりました。

また、市民の皆さんや市内の関係者の皆さんのさまざまなご支援とご協力により、「鮭・酒・人情」という3つの「さけ」のまち村上市の魅力が大いに堪能していただくことができました。



総会開会前に行われたブロック会議



第22回定期総会の様子

# 委員会の審査報告

※委員会の審査報告は、本会議での委員長報告に基づいて、広報特別委員会で作成したものを掲載しています。

◎は委員長  
○は副委員長

## 総務文教常任委員会

◎小杉 和也 ○渡辺 昌  
大滝 国吉 富樫宇栄一 鈴木いせ子  
川崎 健二 三田 敏秋 佐藤 重陽  
滝沢 武司

## 市道の危険箇所総点検を

◆損害賠償の額を決定し和解  
することについて

〈概要〉蓋のない道路側溝が雪に覆われていたため、走行中の車が脱輪し、運転手がケガをした事故。道路管理上の瑕疵により発生した事故のため、道路管理者である市が責任を負うこととして損害賠償するもの。

問 事故現場の前後の側溝には蓋が設置されているのに、なぜその箇所にだけ蓋が設置されていなかったのですか。  
答 以前は全体に蓋が設置さ

れてなく、道路と敷地がはつきりしていません。その後、その後の土地利用の変化により、要望を受けて蓋を設置していきましたが、この部分だけ設置されていませんでした。  
問 車の右側の方の脱輪ですが、国道からの左折でス



事故後に蓋が設置された事故発生現場（下鍛冶屋）

ードが出ていたのですか。  
答 スピードは出ていなかったようですが、当時は一面吹雪で視界が悪く、左折してこの道路に入ったため右側に膨らんだのではないかと考えられます。  
問 示談成立により市側の100%の損害賠償となりますが、法的な根拠も調べてのことですか。  
答 前例もあります。また、以前より注意喚起のカラーコーンを設置していた箇所であり、事故当時は除雪でそこに

なかつたことから、道路管理者の責任となりました。

問 事故後、市内の道路の危険箇所について、総点検を行うよう指示はしましたか。  
答 通常の道路パトロールの際に、注意して確認するよう指示しました。また、市職員一人一人が業務や家庭において危険な箇所を見つけた場合には、速やかに建設課に連絡

するよう対策をしているつもりです。  
27年度 一般会計補正予算  
以上を中心に審査しました。

## 市民厚生常任委員会

◎本間 清人 ○板垣千代子  
長谷川 孝 相馬 エイ 小林 重平  
木村 貞雄 小池 晃 大滝 久志  
板垣 一徳

## 保育事業に准看護師追加

◆村上市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

問 保育事業に准看護師を入れた社会背景は何ですか。  
答 看護師資格を持った方の応募がないため、准看護師の方も対象にしたいとの考えです。

27年度 一般会計補正予算  
【歳出】  
・民生費

問 高齢者の介護予防事業の中で、朝日地区老人クラブの方はどこの温泉施設を利用するのですか。  
答 あかまつ荘、交流の館「八幡」、荒川いこいの家、朝日

みどりの里の施設を利用して  
います。

**問 利用率の多いところは。**

**答** 交流の館「八幡」です。

・衛生費

**問** 岩船沖洋上風力発電推進  
事業の講師・指導員謝礼の内  
容についてお聞きします。

**答** 補正予算計上額50万円は、  
4、5人分の講師謝礼で、宿  
泊費、交通費を含めて1人10  
万円に消費税を加算した額で  
お支払いするものです。

以上を中心に審査しました。



交流の館「八幡」(勝木)



朝日有機センターの臭気測定のための試料採取

## 経済建設常任委員会

◎片野 鉄雄 ○川村 敏晴 尾形 修平  
平山 耕 山田 勉 齋藤信一郎  
竹内喜代嗣

## 臭気測定は毎年実施か

27年度 一般会計補正予算

【歳出】

・農林水産業費

**問** 林業振興費で、市行造林  
の対象集落はどこですか。

**答** 山北地区の今川、大毎、  
山熊田の3カ所の約10haを予

定しています。

**問** 農山村振興事業費で、有  
機センターの臭気測定検査は  
毎年行っていますか。

**答** 豚糞については毎年行っ  
ていますが、今年は豚糞だけ  
で足りないので鶏糞を混ぜ込  
んでまくことから、鶏糞につ

## 北秋田市議会が来市

5月21日、秋田県北秋田市議会の広報公聴特別特別委員  
会の皆さんが議会だよりと議会中継システムを参考にしたい  
と研修視察に来られました。

北秋田市議会でも、議  
会だよりに市民の声をど  
のように取り込むかが課  
題とのことです。当市議  
会の課題も同様であるこ  
とから、有意義な意見交  
換を行うことができました。



### 【北秋田市ミミ情報】

平成17年3月に阿仁町・森吉町・鷹巣町・合川町の4町が合併し誕生。  
秋田県北部に位置する。人口は約3万5,000人。

いても予定しています。

**問** 神林地区については、鶏  
糞は含まれていないのですか。

**答** 神林地区は、豚糞と乳牛  
の糞が含まれています。

・土木費

**問** 河川費において、二級河  
川で草刈を委託しています  
が、その委託集落数は。

**答** 委託の形態としては、県  
から直接業者に委託するケー  
スと、市を経由して集落に委

託するケースと2パターンが  
あり、集落に委託するパター  
ンでは、山北地区は18集落で  
契約し、施工箇所は22カ所、  
村上地区は33町内で契約し、  
施工箇所は37カ所です。

契約形態はそれぞれ面積に  
応じて、1㎡当たり21円で契  
約をしています。

以上を中心に審査しました。

# 平成27年 第2回定例会 議決結果

大滝平正前市長の退職に伴い6月28日に行われた村上市長選挙では、高橋邦芳新市長が誕生。このため、平成27年第2回定例会は1カ月遅れで、7月9日から31日までの23日間の会期で開催され、市長提案24件、議会側提案の請願3件、議員発議7件を議決し、閉会しました。

## 議案審議結果

議案番号	事 件 名	結 果	表 決	議案番号	事 件 名	結 果	表 決
請願第1号	T P P交渉に関する請願書	採択	全会一致	議第92号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（渡辺幸雄：再任）	同意	全会一致
請願第2号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願	採択	賛成多数	議第93号	専決処分の承認を求めることについて（専第6号 村上市税条例等の一部を改正する条例制定について）	承認	全会一致
請願第3号	「安全保障関連法」制定の中止を求める請願書	不採択	賛成少数	議第94号	専決処分の承認を求めることについて（専第7号 村上市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について）	承認	全会一致
議員発議第2号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について	原案可決	賛成多数	議第95号	専決処分の承認を求めることについて（専第8号 村上市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について）	承認	全会一致
議員発議第3号	日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書の提出について	原案可決	全会一致	議第96号	専決処分の承認を求めることについて（専第9号 平成26年度村上市一般会計補正予算（第16号））	承認	全会一致
議員発議第4号	T P P交渉に関する意見書の提出について	原案可決	全会一致	議第97号	専決処分の承認を求めることについて（専第10号 平成26年度村上市蒲萄スキー場特別会計補正予算（第1号））	承認	全会一致
議員発議第5号	地域からの経済好循環の実現に向け最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出について	原案可決	全会一致	議第98号	専決処分の承認を求めることについて（専第11号 平成26年度村上市国民健康保険特別会計補正予算（第2号））	承認	全会一致
議員発議第6号	働き過ぎの防止と良質な雇用の確立を求める意見書の提出について	原案可決	全会一致	議第99号	専決処分の承認を求めることについて（専第12号 平成26年度村上市下水道事業特別会計補正予算（第4号））	承認	全会一致
議員発議第7号	働き過ぎの防止と良質な雇用の確立、中小企業支援の強化を求める意見書の提出について	原案可決	全会一致	議第100号	専決処分の承認を求めることについて（専第13号 平成26年度村上市集落排水事業特別会計補正予算（第3号））	承認	全会一致
議員発議第8号	安全保障関連法案に対する慎重審議を求める意見書の提出について	原案可決	賛成多数	議第101号	専決処分の承認を求めることについて（専第14号 平成26年度村上市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号））	承認	全会一致
報第3号	継続費繰越計算書の報告について（一般会計）	報告	-	議第102号	専決処分の承認を求めることについて（専第15号 平成26年度村上市下水道事業会計補正予算（第3号））	承認	全会一致
報第4号	繰越明許費繰越計算書の報告について（一般会計）	報告	-	議第103号	関川村との定住自立圏形成協定の締結について	原案可決	全会一致
報第5号	繰越明許費繰越計算書の報告について（下水道事業特別会計）	報告	-	議第104号	栗島浦村との定住自立圏形成協定の締結について	原案可決	全会一致
報第6号	平成26年度村上市下水道事業会計予算繰越の報告について	報告	-	議第105号	損害賠償の額を決定し和解することについて	原案可決	全会一致
報第7号	専決処分の報告について（専第4号 損害賠償 民家車庫への車両接触事故）	報告	-	議第106号	村上市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
報第8号	専決処分の報告について（専第5号 損害賠償 倒木による工場倉庫及び車両破損）	報告	-	議第107号	平成27年度村上市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	全会一致
報第9号	専決処分の報告について（専第17号 損害賠償 集水樹破損による人身事故）	報告	-	議第108号	平成27年度村上市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	全会一致

## 各議員の賛否

賛否が分かれた等の上表の網掛けの議案等について、議員の賛否を公表します。

◎：会派の代表者 \*：会派の会計責任者

議案番号	議決結果 ※1	特記	鷺ヶ巣会							清流会				市民クラブ			日本共産党	市政クラブ		高志会		凛政の風 村上未来		賛否結果				
			◎大滝久志	*鈴木いせ子	※2板垣一徳	片野鉄雄	山田勉	大滝国吉	木村貞雄	渡辺昌	◎三田敏秋	*平山耕	小林重平	川崎健二	◎滝沢武司	*富樫宇栄一	小池晃	本間清人	◎相馬エイ	*竹内喜代嗣	◎川村敏晴	*小杉和也	◎佐藤重陽	*尾形修平	◎齋藤信一郎	*長谷川孝	板垣千代子	賛成
請願第2号	可決		○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎3	○	○	22	1
請願第3号	否決		×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	◎3	×	×	7	16
議員発議第2号	可決		○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎3	○	○	22	1
議員発議第8号	可決		○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎3	○	○	22	1

※1 可決：全員賛成または賛成多数により可決、同意、承認、認定、採択等と議決したもの  
 否決：賛成少数または賛成なしにより否決、不採択等と議決したもの  
 ※2 議長は地方自治法第116条の規定により表決に参加しません。  
 ※3 齋藤信一郎議員は欠席したため表決に参加しませんでした。

## 新議長に三田敏秋氏

8月18日開催の第2回臨時会において、板垣前議長の議員辞職に伴う市議会議長選挙が行われ、三田敏秋議員が新議長に当選しました。



### 【略歴】

昭和27年10月3日生  
 村上市議会議員を4期（旧荒川町議会議員3期を含む）旧荒川町議会議員・議会運営委員長・産業建設常任委員長、村上市議会初代副議長を歴任

## 全国市議会議長会・北信越市議会議長会 永年勤続議員表彰受賞



（左から）大滝国吉議員 佐藤重陽議員 相馬エイ議員 齋藤信一郎議員

全国市議会議長会および北信越市議会議長会から、4人の議員が永年勤続議員表彰を受賞しました。

今回、受賞された相馬エイ議員は平成7年4月に旧村上市議会議員に初当選、佐藤重陽議員は平成3年4月に旧村上市議会議員に初当選、大滝国吉議員は平成4年3月に旧山北町議会議員に初当選、齋藤信一郎議員は昭和58年9月に旧朝日村議会議員に初当選して以来、議会議員として地域の発展に取り組んできました。本市の発展のため、今後ますますの活躍が期待されます。

## 請願の審議結果

件名	請願者	紹介議員の氏名	付託委員会	審議結果
TPP交渉に関する請願書	にいがた岩船農業協同組合 代表理事組合長 本間正良 かみはやし農業協同組合 代表理事組合長 竹内昌彦	鈴木いせ子	経済建設常任委員会	採択
30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願	新潟県教職員組合村上市岩船郡支部 執行委員長 中山久司	本間清人	総務文教常任委員会	採択
「安全保障関連法」制定の中止を求める請願書	むらかみ9条の会 代表 高木伸二	相馬エイ	総務文教常任委員会	不採択

## 陳情の審査結果

件名	陳情者	所属委員会	審査結果
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	新潟県労働組合総連合 議長 佐藤一弥	経済建設常任委員会	願意了承
「働き過ぎの防止と良質な雇用の確立を求める意見書」の採択を求める陳情	新潟県労働組合総連合 議長 佐藤一弥	経済建設常任委員会	願意了承
「働き過ぎの防止と良質な雇用の確立、中小企業支援の強化を求める意見書」の採択を求める陳情	新潟県労働組合総連合 議長 佐藤一弥	経済建設常任委員会	願意了承
2015年原水爆禁止国民平和大行進 県内行進並びに自治体訪問へのご支援、ご協力をお願い	新潟県労働組合総連合 議長 佐藤一弥	総務文教常任委員会	願意了承

## 人権擁護委員の方が決まりました

次の方が推薦され、議会で同意されました。

渡辺幸雄氏（山北地区・再任）



## 請願第3号

# 「安全保障関連法」制定の中止を求める請願書

この請願に対して、反対3人、賛成3人の討論が行われ、採決の結果、賛成少数で本請願は不採択となりました。

### 反対討論 小林 重平

平和安全関連法は7月16日に衆議院で可決し参議院で審議が始まりました。この法案は、国民の命と平和を守るために最も重要な法案であり政治の重要な責任です。しかし日本を取り巻く情勢はさまざまな脅威に晒されています。従来の憲法解釈と整合を保ちながら日本の平和を守り抜くために法整備に取り組むことは、政治の責任であると考えます。国際社会の一員として世界の平和と安全に貢献しなければならないと思います、反対するものです。

### 賛成討論 滝沢 武司

集団的自衛権の行使を可能にする安全保障関連法案は、「平和と民主主義を維持、堅持する」という日本国憲法の基本的精神に背く法案です。国民自らの英知と努力で築き上げてきた平和が、再び無数の血の犠牲をもたらすことのないよう、戦後70年間守ってきた平和を、憲法の基本的精神をみんなで守ることが、今最も大切なときです。武力で平和は作れません。「この道はいつか来た道」と気付いたときには、もう遅いのです。

### 反対討論 木村 貞雄

今、戦争法案だと言って世間で騒いでいることは、大きな間違いです。また、内閣法制局は、初代の長官とは考え方も変わり、しかもただの官僚であり、国民からの選挙での洗礼を受けているわけでも何でもありません。憲法学者については、終戦後GHQにより教育者を変えられた関係で、思想を持っている方だと思います。安全保障法案は違憲ではなく、個別的自衛権、集団的自衛権であれ、あくまでも自衛の措置です。

### 賛成討論 富樫宇栄一

一内閣の憲法解釈で安全保障政策の大転換をすることは立憲主義を逸脱するもので、法治国家の根幹にも関わります。内閣法制局長官経験者を含む法律の専門家から「違憲」の指摘をされている「安全保障関連法案」は制定を中止し、憲法との整合性を含めて、安全保障体制の十分な議論が必要です。安全保障問題を、隣家の火事や強盗に例えて説明することは、戦争の本質をずらすものです。

### 反対討論 片野 鉄雄

国連に加盟している全ての国に適用される国連憲章第51条には、個別的、集団的自衛権が認められており、各国の領土権と同様に国家に与えられた元々の権利です。国際法は普遍的共通の真理で、その国だけで通用する憲法より上位にあります。また立憲主義を誤解して憲法がすべてに優先するという憲法至上主義は間違っており、本当の立憲主義は「人間のために憲法がある」という意味。中国の軍事拡張を擁護するマスコミの論調は問題です。

### 賛成討論 竹内喜代嗣

自衛隊は安全な所で弾薬を運ぶというのが間違いです。食料・弾薬がなければ戦争はできません。輸送する部隊が最初に狙われます。安全な兵站部隊などありません。イラク戦争でも3千人を超える死傷者が出ていることが明らかになりました。もう悲惨な戦争をしてはいけないという悲痛な体験者の叫びをどう受け止めるのかが問われています。今を生きる者として、内閣総理大臣の憲法規範を超越するような独裁政治を許すのかが問われています。

# 平成26年度 政務活動費の交付実績

申請額の欄の「-」表記は、政務活動費の交付申請を行わなかった会派および議員です。  
 なお、各会派および議員の収支報告書は、村上市議会のホームページでご覧いただくことができます。

## 1 会派の政務活動費（所属する議員1人当たり60,000円）（単位：円）

会派名	申請額	交付決定額	実績報告額	対象経費	返還額
鷺ヶ巣会	480,000	480,000	482,869	480,000	0
市民クラブ	240,000	240,000	306,653	240,000	0
清流会	240,000	240,000	206,870	206,870	33,130
日本共産党	-	-	-	-	-
市政クラブ	120,000	120,000	170,453	120,000	0
高志会	120,000	120,000	132,703	120,000	0
凜政の風村上未来	120,000	120,000	145,615	120,000	0
合計	1,320,000	1,320,000	1,445,163	1,286,870	33,130

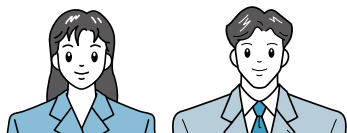
## 2 特例により会派に所属しない議員に交付する会派の政務活動費（1人当たり60,000円）（単位：円）

会派名	申請額	交付決定額	実績報告額	対象経費	返還額
板垣千代子	-	-	-	-	-
姫路 敏	60,000	60,000	89,067	60,000	0
合計	60,000	60,000	89,067	60,000	0

※会派に所属しない議員が、他会派が実施する調査研究・研修活動に参加する場合に限り交付するものです。

## 3 議員の政務活動費（議員1人当たり60,000円）（単位：円）

会派名	申請額	交付決定額	実績報告額	対象経費	返還額
渡辺 昌	60,000	60,000	75,400	60,000	0
尾形 修平	60,000	60,000	25,026	25,026	34,974
板垣 千代子	-	-	-	-	-
鈴木 いせ子	60,000	60,000	88,814	60,000	0
本間 清人	60,000	60,000	37,291	37,291	22,709
川村 敏晴	60,000	60,000	125,545	60,000	0
富樫 宇栄一	60,000	60,000	75,281	60,000	0
小杉 和也	60,000	60,000	65,160	60,000	0
齋藤 信一郎	60,000	60,000	36,928	36,928	23,072
竹内 喜代嗣	60,000	60,000	180,903	60,000	0
平山 耕	60,000	60,000	77,916	60,000	0
川崎 健二	60,000	60,000	50,386	50,386	9,614
木村 貞雄	60,000	60,000	31,164	31,164	28,836
三田 敏秋	60,000	60,000	31,706	31,706	28,294
小池 晃	60,000	60,000	86,922	60,000	0
姫路 敏	60,000	60,000	697,983	60,000	0
長谷川 孝	60,000	60,000	76,090	60,000	0
滝沢 武司	60,000	60,000	255,840	60,000	0
小林 重平	-	-	-	-	-
佐藤 重陽	60,000	60,000	104,393	60,000	0
相馬 エイ	60,000	60,000	75,152	60,000	0
大滝 国吉	-	-	-	-	-
大滝 久志	60,000	60,000	69,329	60,000	0
山田 勉	-	-	-	-	-
片野 鉄雄	60,000	60,000	170,977	60,000	0
板垣 一徳	60,000	60,000	52,992	52,992	7,008
合計	1,320,000	1,320,000	2,491,198	1,165,493	154,507



市議会は会期が終了すると閉会しますが、各常任委員会では、閉会中に各所管の事務調査を行っています。

# 市政をチェック!

## 閉会中事務調査



28年度からの消防救急無線のデジタル化に向けて、3カ年計画で施設整備が進められています。総事業費は約14億円で、5つの無線局舎等を整備し消防本部とデジタル方式で結ばれます。デジタル方式は音声がとても明瞭であり、双方向の通話やメール等のデータ通信も可能となります。複雑多様化する災害対応での消防や救急のさらなる連携強化、災害への広域的対応もスムーズに行うことができるものと認識しました。

**総務文教常任委員会**  
デジタル無線化で  
防災強化



現在の保育園の問題点等について、村上市の保育園18園のうち12園の園長に参加いただき、意見交換会を行いました。現在の問題点として、3歳未満児の保育が多くなっていますが、保育士の配置基準が3歳未満児3人に対し保育士1人となっているものの、正職員が少なく臨時職員の保育士が多い現状であるとのこと。より良い保育を目指すためにも正職員の採用が期待されます。

**市民厚生常任委員会**  
より良い保育を  
目指して



村上市建設業協会から市議会への提案事項に基づき、地元建設業の現状を把握するため、同協会と意見交換を行いました。同協会からは、地域貢献度の運用を取り入れるなどの市入札制度の改正や、建設業界における担い手の確保などの地元建設業への支援について、提案がありました。今後、この提案事項について公平性の観点から、本市の運用や対応の状況についても調査することとしました。

**経済建設常任委員会**  
地域貢献と地元発展

委員会と視察日	調査事項
総務文教常任委員会 (4月23日)	岩船連絡所・上海府連絡所の業務状況について (岩船連絡所・上海府連絡所) 消防デジタル無線設備の整備状況について (消防本部)
市民厚生常任委員会 (5月20日)	市内保育園園長との意見交換及び現状調査
経済建設常任委員会 (5月13日)	地元建設業の現状について (村上市建設業協会との意見交換)



広報特別委員会委員が  
おじゃましました！

リハビリテーション活動を通じて  
村上に貢献したい

しのざき まさえ  
篠崎 雅江さん (山居町二丁目)



25年4月に、新潟リハビリテーション大学作業療法学専攻新設のための教員として、薬剤師の夫と共に転居しました。作業療法士はリハビリテーションを担う国家資格で、日常生活に支援が必要な全ての方に対して、社会とのつながりを「作業」を通じて作ります。病院や老人保健施設の他に、訪問リハビリテーションなど職域は多岐に渡ります。公共施設や病院、スーパーといった生活に必要な施設が半径5km以内にあり、生活用品は市内でほぼ揃えることが

できます。町並みはきちんと整備され、城下町の雰囲気が残っています。少し足を伸ばせば海にも山にも近く、新鮮な食材が手頃な値段で購入できます。切り身ではない丸ごとの鮭やブリを村上で初めて見ました。村上市は、自然と歴史の調和がとれた、とても住みやすいまちだと思います。転倒予防教室など、大学の地域貢献活動等を通じて少しでも溶け込んでいけたらと考えています。



この地、この家との出会いに感謝！

やなせ たかし あさこ  
築瀬 孝さん・朝子さん (布部)

5年前の1月1日のことでした。妻の弟から朝日地区布部の旧家で現在空き家の話があり、退職のところで、環境も、その家のことも何もわからないのに、電話でその時決めました。東京都板橋区から今年の春に移住しました。子どもたちには叱られそうなので当初黙っていましたが、この夏来て、私たち以上に喜び、孫は裏の小川でカワトン

ボを捕まえようと夢中で遊んでいました。二人とも病気をし、医師から「食生活を変えなさい」と言われていました。朝早くから宮沢賢治の世界のように畑作りに熱中しています。畝は初めて持ちました。海の幸、山の幸、畑の幸から健康をいただいています。本当のトマトの味がこれなんだと知りました。日本海の海の輝きに感動しました。縁がありこの旧家で暮らすことになりましたが、将来は近所の人たちと「地域の茶の間」にしていきたいと考えています。

議会の一コマ

議員自ら災害時の迅速かつ適切な対応を図れるよう、AEDの操作などの応急手当講習会を行いました。(7月23日)



編集後記

6月の最終日曜日に、高橋邦芳新市長が誕生しました。今年5月1日まで議会事務局長として、私たちが議員の議員活動を支えてくれており、市民の皆さまに開かれた議員活動を目指すことを期して、議員基本条例の制定や各定例会、臨時会など市政の発展のため、ご尽力されることを期待します。

広報特別委員会

- 委員長 相板川渡竹鈴
- 委員 馬垣村辺内木
- 委員 工千敏 喜代いせ子
- 委員 伊子晴 昌嗣

川村 敏晴